

反対討論

議案第 14 号 尼崎市下水道事業会計予算についての反対討論

維新の会の別府建一です。

尼崎市議会 維新の会を代表致しまして議案第 14 号 平成 30 年度 尼崎市下水道事業会計予算の公共下水道整備事業費における大雨による浸水被害の軽減を図るための浸水対策、雨水貯留管整備に対する反対討論を行います。

雨水貯留管整備事業について発信立坑を工事現場とする城の越公園を起点にした雨水貯留管整備事業を予算上程されています。

この事業の説明会は、昨年 9 月に守部農会と 11 月守部福祉協会の 2 回のみ行われました。その 2 回とも反対意見の多いまま終了しました。その後、住民よりこの公園での工事の反対署名が代表陳情者他 34 名、署名簿 1,921 筆が提出されています。鳥場公園、東武庫公園の近隣住民へは全く説明会は開かれていません。

そんな中、この定例会にて予算上程がなされました。

この議案の反対の理由としては、

城の越公園の施工基地の選定について本市は、

- ①用地の広さ
- ②資材搬入経路
- ③雨水貯留管からの距離
- ④経済性

を考慮したと当局は繰り返し答弁されていました。

用地の広さについては、

工事現場の城の越公園は、公園を全面閉鎖をして工事施工しなければいけないほど土地面積が小さいのです。

また、この公園で盆踊りなどの祭りが行われていないことを理由に閉鎖しても構わない、ましてや公園利用者の日常の利用調査も行わないまま、閉鎖に踏み切ろうとしています。

何年も住民が公園を使えなくなるのが本市の言う用地の適正な広さなのでしょうか？

資材搬入経路については、

工事車両が走る道路は、車道・歩道が分かれていない生活道路であります。また、歩道には、ガードレールも有りません。

ダンプカーが 1 日のべ 70 台、6 年半も公園の目の前を走ります。まずは、歩道のガードレールの設置の検討が、必要では無いでしょうか？

そして、すぐ近くには保育園や介護施設があります。
まだまだ資材搬入経路対策は、不十分と考えます。

雨水貯留管からの距離については、

この雨水貯留管事業が平成 30 年度より短くても約 6 年半の工事期間になります。

同時期に半径 200 メートル以内に兵庫県が施工する都市計画道路尼崎宝塚線の阪急立体交差の街路事業については平成 30 年度から 35 年度にかけて 6 年にも渡って工事の実施が計画されています。

これらの大事業が近くで行われるにもかかわらず単純にその幹線道路からの距離だけで安易に決められた感はありません。

そして経済性については、

確かに幹線道路からの距離だけで言うと経済性は、検討された他の候補地よりも施工距離は、短いかもしれませんが。

しかしながら住民のご負担は、この選定を行う際に全く考慮されていません。

経済性を重視するあまり住民への報告、連絡、相談いわゆるハウレンソウが全くなされていません。

そこで、いきなりの城の越公園を工事現場とする事業説明会の開催がなされたことに対して本市は、住民感情よりもこの事業に対しては、経済性を住民負担よりも重きとお考えなのでしょうか？

これでは、住民と本市との信頼関係の構築は、とても難しいと思います。

我が会派としては、雨水貯留管整備事業は、将来の未曾有の自然災害対策としては、必要な工事であり総論賛成と考えます。

しかしながら今回の住民説明また事業の進め方については、とても問題があります。決算特別委員会や分科会においても各会派より地域住民との粘り強い話し合いが足りない、また説明責任が果たせていないと意見されています。

一部地域に多大な住民負担をお掛けするのではなくなるべくご負担を分散し一部地域への住民負担の少ない方法も検討するべきと考えます。

当局は、本市として地域住民からのご理解ご協力を得られるよう工事内容の詳細な説明、図面の提示や資材、残土などの搬入搬出など住民への説明責任もしっかりと果たして欲しいのです。

以上の理由により城の越公園での住民からの工事の反対により雨水貯留管整備事業予算には、賛成することは出来ません。

したがって維新の会は、議案第 14 号について反対致します。

議員の皆様におかれましては、是非ともご賛同いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

